

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和4年7月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
2	<p>(事業名・地区) 農山漁村地域整備交付金(地域水産物供給基盤整備事業)(知夫地区)</p> <p>(事業位置) 隠岐郡知夫村</p> <p>(事業費) 990,000千円</p> <p>(事業概要) 尾崎防波堤 L=120.7m</p> <p>(事業主体の根拠) 県管理漁港のため</p> <p>(再評価区分) ②事業採択後10年を経過している継続中の事業</p> <p>(担当部課名) 農林水産部水産課</p>	<p>(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度:2013(H25)年度 工事着手年度:2013(H25)年度 完了予定年度:2026(R8)年度 経過年数:10年</p> <p>(進捗状況と今後の見込み) 令和4年度当初時点 進捗率:82%</p> <p>令和8年度完了予定</p>	<p>(事業導入の経緯・目的) 知夫漁港は、知夫村唯一の漁港であり、水産物の陸揚げや集出荷の拠点となっている。また、島内の中心地にあり、生活物資等の取扱港にもなっており、重要な海上輸送拠点としての役割も担っている。 港内の静穏度確保のための外郭施設整備を行い、漁港の安全性を向上させる。</p> <p>(事業を取り巻く社会情勢) 知夫村は建設資材や設備が乏しく、他の島で製作した資材を現地へ運搬・設置している状況。</p> <p>(事業に対する地元情勢・計画の熟度) 静穏度向上により更に活気づくことが期待されるが、担い手不足の傾向にあることから、就業環境改善につながる水産基盤のさらなる強化が望まれる。</p>	<p>(費用対効果) b/c=1.01</p> <p>(コスト削減・代替案等) 構造比較において、 ① 直立消ブロック ② 直立堤+消波ブロック ③ カーテン式 によるコスト比較をした結果、最も経済性に優れた①を採用。</p> <p>使用資材についても、過去の使用実績のある3種を比較し、最も経済的かつ施工性の優れたものを選定している。</p> <p>その他、ブロックの積段数や配置などのケース比較によりコスト削減に努めている。</p> <p>(その他の効果) 静穏度の向上は、係留施設の利便性も向上し、係留準備時間の短縮による生産コスト削減が期待できる。</p>	<p>(生活環境・自然環境への影響) 付近でマグロの稚魚の畜養を行っており、一時保管中は施工をせず、工事時期を制限することで環境へ配慮している。</p> <p>(事業を中止した場合の影響) 港内静穏度が改善されず、安全な航行・停泊に支障が生じるほか、これまでの投資効果が発現されない。</p>	<p>(方針案) 継続</p> <p>(継続・中止の理由) 知夫村においては漁業は基幹産業であり、業者の安全性向上、労働環境改善は地域の活性化に寄与すると考えているため、引き続き実施する事が必要である。</p>

知夫地区 農山漁村地域整備交付金（地域水産物供給基盤整備事業）

●漁港の概要

知夫漁港は、知夫村唯一の漁港であり、登録漁船数は島前地域のおよそ3割を占めるなど水産物の陸揚げや集出荷の拠点となっている。また、島内の中心地にあり、生活物資等の取扱港にもなっており、重要な海上輸送拠点としての役割も担っている。

●事業の概要

港内の静穏度確保のための外郭施設整備（尾崎防波堤L=120.7m）を行い、漁港の安全性を向上させる。

位置図

